



専務取締役
山本 玲子さん

天然コットン100%にこだわり ベビー寝具専門店立ち上げ

創業から97年が経つ布団の製造販売を手掛ける山本松産業株式会社(天理市柳本町・山本康雅代表取締役社長)は、天然コットンを100%使用し環境にやさしく、サスティナブルなベビー寝具専門店を立ち上げた。赤ちゃんに優しく、ふんわりとした使用感、成長に合わせて打ち直す再利用にこだわり「丸おざぶとん」と「抱っこふとん」を生み出した。今年も健康経営優良法人として、地域から健康経営の発信を続ける「ブライト500」に認定。同社専務取締役の山本玲子さん(56)は「幸せふとん、夢ふとんをお届けします」と目を輝かせる。

Made
in
奈良

天理市 山本松産業株式会社



天然コットンの「丸おざぶとん」

創業者は四国から奈良に移り住んだ山本松太郎氏で、大正13(1924)年のこと。昭和32(1957)年に製綿機の製造工場として「山本松合織精機株式会社」を設立した。当時は布団の中綿を手でたたいてほぐしていたが、松太郎氏が研究と試作を繰り返して、昭和39(1964)年に布団の中綿をつくる機械「オールマイティーランダム成型機自動装置」を発明。3年後に特許を取得した。松太郎氏は布団業界のパイオニアとして国内、海外にも成型機の販売に奔走。三男夫婦が「ここで布団をつくらう」と、独立したい旨を山本さんの義母が松太郎氏に申し出た。「それで今まで鉄工所だったこの土地を買い取って、布団製品をつくり始めたのが山本松産業の始まり。法人化したのが昭和62(1987)年11月です。たった3人でのスタートだったようです」と、会社誕生の秘話を話す山本さん。

決して平たんな道ではなかった。ただ、救いの手を差し伸べてくれたのは、産業界向けの布団を貸す県内の会社だった。受注依頼のため、この会社の門をたたいてしばらくしてから、1本の電話がかかり、快諾してくれることに。「そこから仕事をちょこちょこいただけるようになったと聞いています」とも。ところが、そんな中でも外部環境が厳しくなり、商社勤めだった現社長の康雅さん(60)が会社に戻ってきて社の成長に取り組んだ。山本さんは平成4(1992)年に康雅さんと結婚。平成17(2005)年1月の社長就任と同時に、二人三脚で会社をけん引してきた。研究に研究を重ねて、丸洗いできる製品づくりを商社と一緒にタッグを組んでやってきたことが功を奏した。山本さんは「ここ生まれの丸洗いを全国に広めた経緯があります。売り上げを徐々に伸ばしていきまし」と苦労した時期を話す。同社は、一般向け顧客に照準を合わせて販売し、全体売り上げの3割まで伸ばしていくことを中長期ビジョンとして描く。「そのための3本柱はサスティナブルなものなのです。コットンは作り直しができ、まさしく山本松太郎が発明した機械に通すことによって、綿をよみがえらせることができ

「丸おざぶとん」「抱っこふとん」にふんわり感 一貫した自社工場生産「本業自体が環境経営」



自社工場で使用している製綿機

るんです。捨てても最後は土になります。とても良い素材なんです」と強調。環境経営マネジメントの「エコアクション21」にも取り組んでいる。今最も力を入れているのが、生まれた赤ちゃんの木綿の布団。コットンのガーゼでおくるみしたり、赤ちゃん用品は全てコットン。今はオーガニックコットンや肌に優しい良い素材を出品している。「ラウンドマットや、どこでも赤ちゃんの居場所が作れる布団、お昼寝用の敷布団なんかはカバーがすごく人気です。どうやったら全国の人に知ってもらえるかが課題です」と話す。検針機により金属が混入していないかを調べたり、縫製、汚れ、傷などを職人

の目で検品し、安全な商品をお客様に届ける。「ホルマリン検査などを済ませた空間で検品をしたり、物をつくったり。赤ちゃんの物に關しては、別の場所ですやっています」と、清潔な作業場であることに自信をみながら話せる。

2つ目は、大人向けの羽毛布団や婚礼布団など、顧客が大事にしている思い出の布団の作り直し。そして3つ目は、いま多くの人が求めている介護、美容、健康、自然環境をキーワードにした商品づくり。「広い見地から見ると、環境にもやさしい物をつくっていくということが、今求められていますし、そういう物をつくらせてもらおうと思っています」と山本さん。

超高齢化社会と住宅事情の洋風化により、ベッド需要が増え続けている。今、そういった2つの意味合いから、ベッドのような敷マットは畳の上でも使え、体圧分散で寝返りが打ちやすいのでぐっすり眠れるという利点を持ち合わせる。新事業として「機能性敷マット」の展開に期待を寄せる。全国の製綿業は、平成28(2016)年のデータで964社。千社を切った主要因は、安価な布団が中国から出荷されてきていること。そんな中で、山本松産業の強みは、綿づくりから製品仕上げて至るまで、一貫した自社工場生産。スタッフは70歳代から20歳代までの人材がほぼ均等にそろ



○創業=昭和62(1987)年11月
○代表取締役社長=山本康雅
○従業員数=12人
○資本金=3000万円
○事業内容=医療機関、福祉施設・教育機関などの企業向けレンタル布団の縫製と加工ならびに寝装寝具用品の製造・販売
○本社住所=天理市柳本町889-1
○電話番号=0743(67)0341
○ファクス=0743(67)0342

っていること。経営理念の第一に「清潔かつ安心なもののづくりから健康な暮らしを創造する」を掲げる。「本業自体が環境経営なのです。お客さまが一度使われたお布団の綿を廃棄せず再利用し、産業、企業用に作り直しているということがそうなんです。これを適正価格で一般のお客さま、企業さまに向けて販売していきたいと、舵をそちらに切っています」と将来を見据える。目指すのは「日本一人を大切に作る寝具業界」。「一つ一つやっていくと思っています。今年は『ブライト500』をいただいたので、社員の自主性、自発性が発揮できて、社員が生き生きする会社を目指していきたいです」と微笑む。



<http://www.yamamotomatsu.co.jp>